

布野中だより

平成26年9月12日(金)
第8号
三次市立布野中学校

学力調査にかかわって

先日、今年度の【広島県「基礎・基本」定着状況調査】、および【全国学力・学習状況調査】の結果が公表されました。その結果をお知らせします。

【広島県「基礎・基本」定着状況調査について（6月：2学年を対象に実施）】

<平均通過率>

	国語	数学	理科	英語
布野中平均	81.5	76.1	58.5	83.8
三次市平均	76.5	73.0	56.6	73.1
広島県平均	73.7	70.2	55.0	68.2

<本校の正答率と県の正答率の項目別の比較>

	(相対的に)本校の正答率が高い主な項目	(相対的に)本校の正答率が低い主な項目
国語	<ul style="list-style-type: none"> 必要な質問をしながら聞く 主語、述語の関係 登場人物の心情の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 要旨の把握 故事成語
数学	<ul style="list-style-type: none"> 一次方程式の立式 作図の根拠 投影図 	<ul style="list-style-type: none"> 球の体積 複数の事象の統合
理科	<ul style="list-style-type: none"> 温度計の示度の読み取り 火山灰の観察の方法 実験結果の分析、解釈 	<ul style="list-style-type: none"> 光の性質の利用法 地震の記録による震源距離の推定 顕微鏡の観察の仕方
英語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどが、読み手に正しく伝わるように書く つながりのある文を書く 適切な質問を考え、英文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 会話の内容の理解と質問への適切な応答 情報をもとにした概要の理解

【全国学力・学習状況調査について（4月：3学年を対象に実施）】

<平均点>

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)
布野中平均	91.5	60.6	66.7	60.6
広島県平均	80.1	50.9	68.4	60.5
全国平均	79.4	51.0	67.4	59.8

<本校の正答率と県の正答率の項目別の比較>

	(相対的に)本校の正答率が高い主な項目	(相対的に)本校の正答率が低い主な項目
国語A	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。 文脈に即して漢字を正しく書く。 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する。 書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す。

国語B	<ul style="list-style-type: none"> 表現の技法について理解する。 文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつ。 本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を比較して読み、要旨を捉えたり、必要な情報を読み取る。 資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く。 登場人物の言動の意味を考え、その姿を想像する。
数学A	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値の意味を理解している。 関数の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式や連立二元一次方程式を解くことができる。 確率の意味を理解し、確率を求めることができる。
数学B	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた説明を読み取り、式を適切に変形することができる。 予想された事柄が成り立たないことを判断し、その理由を説明することができる。 与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる。 付加された条件の下で、証明を振り返って考えることができる。 不確かな事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる。

今後も、正答率が低かった領域や項目等を中心に分析を行いながら、授業を中心に一層の学力の定着を図ってまいります。

生活と学習に関して

続いて、生活と学習に関する項目についてお知らせします。

【「基礎・基本」定着状況調査（2年生）】では、「地域や子供会などの行事に参加している。」（肯定回答 70.0%：県平均との差 +23.2%）、「ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか考えている。」（同 90.0%：同差 +23.1%）、「ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想している。」（同 100.0%：同差 +20.8%）等は、本校の平均は県平均を上回っていました。逆に県平均を下回った内容としては、「将来の夢や目標をもっている。」（同 60.0%：同差 -15.8%）、「努力すれば、自分もたいていのことはできると思う。」（同 70.0%：同差 -9.1%）、「『もっと力をつけたい』『分かるようになりたい』から勉強している。」（同 60.0%：同差 -14.3%）等でした。

また、【全国学力・学習状況調査（3年生）】では、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。」（同 72.8%：同差 +37.5%）、「友達に伝えたいことをうまく伝えることができる。」（同 90.0%：同差 +16.4%）等は、本校は県平均よりも上回っています。しかし、「自分にはよいところがあると思う。」（同 63.7%：同差 -8.6%）、「人の役に立つ人間になりたいと思う。」（同 90.9%：同差 -4.0%）等は低くなっています。少人数の学年の場合必ずしも正確な全体把握には成り得ないかもしれませんが、これらの結果を生かしながら、自己効力感の醸成やキャリア教育の一層の充実を図ってまいります。



全校生徒で花壇の手入れをしているところです。